

新校が目指す学校像及び移行期間中の教育活動・交流活動(案)

1 新校が目指す学校像

第八中学校と第十一中学校のこれまでの教育活動や、これからの学校教育に求められていること等を踏まえ、新校が目指す学校の姿を以下のように考えました。

人権尊重の精神を基調とし、自律的な学びと共創的な活動を通して、未来を切り拓く力を育てる学校

2 学校づくりの視点

新校が目指す学校づくりにあたっては、次の4つの観点から12の視点を設定し、具体的な教育活動や学習環境、学校施設等を検討していきます。

(1) 学びの充実 に関する視点

- ・一人ひとりの理解度や特性に応じた学習機会の充実
- ・各教科の学びを生かした探究的な学習の推進
- ・学校の教育力を高める各種教育機関等との連携

(2) 豊かな心・健やかな体の育成 に関する視点

- ・生徒の主体性を大切にした学校行事の運営
- ・生徒自ら健康的な生活習慣の定着を図る取組の充実
- ・ユニバーサルデザインの視点に基づく学習環境の構築

(3) 地域との連携 に関する視点

- ・地域との関わりを生かした「小・中連携子ども育成プラン」の推進
- ・地域を支える自覚を促す行事への参画
- ・健全育成を推進する学校と地域のパートナーシップの構築

(4) 誇りとやりがいをもって勤務できる環境の構築 に関する視点

- ・校務支援体制づくりの推進
- ・業務改善につながる施設設備等の先進化
- ・幅広い教育活動への地域教育資源の活用

3 移行期間中の教育活動・交流活動(現段階で想定しているもの)

令和7年4月からの教育活動・交流活動が円滑に実施できるよう、各校で教育計画等の検討を行います。

ア 教員間で行う検討事項等

| 年度 | 検討事項等 |
|-------|--|
| 令和4年度 | ○令和5年度各校の教育計画策定 ・教育課程：交流活動、主な行事予定 ・学習評価：令和5年度第1学年の評価計画等の確認 |
| 令和5年度 | ○令和7年度新校の教育計画策定に向けた取組 ・教育課程：年間行事予定、年間指導計画、令和7年度修学旅行業者選定 ・学習評価：令和6年度第1・2学年の評価計画等の確認 |

| | |
|-------|--|
| 令和6年度 | ○令和7年度新校の教育計画策定 ・教育課程：各教育全体計画、週時程、固定時間割、令和8年度修学旅行業者選定 ・校務分掌：学校運営組織 ・生徒会：生徒会役員の構成 ・学習評価：令和7年度の評価計画等の確認 ・新校に向けて校内業務の見直し |
|-------|--|

イ 移行期間中に各校で行う教育活動・交流活動

両校の生徒が、同じ学校で学んでいく仲間同士として、開校までの期間中においても、豊かな人間関係を構築していくことが大切です。

そこで、下記の教育活動・交流活動に取り組んでいきます。

| 教育活動・交流活動の内容 | |
|--|---|
| 令和5年度 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・校風や生徒会活動に関する相互理解 ・レクリエーションの実施 ・いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議のテーマ共有 ・学校行事の交流で実施する合唱コンクールの鑑賞 | <ul style="list-style-type: none"> ・部活動における土日や長期休業中を中心とした合同練習の機会の確保 ・競技や人数等に応じた合同チームの結成 (1年生大会における合同チームでの参加) ・文化部活動の交流 |
| 令和6年度 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・校風や生徒会活動に関する相互理解 ・新校の生徒会スローガンの決定 ・「生活のきまり」原案の作成 ・レクリエーションの実施 ・自然宿泊体験教室の実施 ・いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議後の意見交換 ・小学校展覧会での作品出品 ・いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議における小学校間の意見交流 | <ul style="list-style-type: none"> ・部活動における土日や長期休業中を中心とした合同練習の機会の確保 ・競技や人数等に応じた合同チームの継続実施 ・冬季大会終了後の合同チームの編成 ・文化部活動の交流 |

※実際の教育活動・交流活動に当たっては、各校の現在の教育活動を尊重しながら、交流の仕方や規模、内容等を精査して、生徒に負担のかからない範囲で進めていきます。

以 上

新校の目指す学校像関係図



【第八中学校】

教育目標

人間性豊かな八中生の育成をめざし、下記の目標を設定する。

- 一、求めて学ぶ
- 一、考えて行う
- 一、自ら鍛える

目指す学校像

- 全教職員が人権尊重の精神を基盤にしながら、
活力と魅力に溢れた教育活動を展開し、
生徒が喜んで登校して
本校に誇りをもち、
保護者や地域から信頼され、
教職員が生きがいを感じる学校



【第十一中学校】

教育目標

人間尊重の教育を基調として、自ら学び、考え、よりよい生き方を実践できる生徒を育成する

- 「思いやり」
- 「責任感」
- 「実行力」

目指す学校像

- 生徒一人一人の個性・特性を重視し、生徒の活躍する場があり、学ぶ喜びや自らの良さを伸ばすことができる魅力ある学校
- 教職員が生徒と共に活動し、活力があり・誇りを持てる学校
- 家庭・地域との連携を深め、生徒や保護者・地域から信頼される学校

【新校】目指す学校像(案)

人権尊重の精神を基調とし、自律的な学びと共創的な活動を通して、未来を切り拓く力を育てる学校

【新校】学校づくりの4つの観点と12の視点(案)

(1)学びの充実 に関する視点

- ・ 一人ひとりの理解度や特性に応じた学習機会の充実
- ・ 各教科の学びを生かした探究的な学習の推進
- ・ 学校の教育力を高める各種教育機関等との連携

(2)豊かな心・健やかな体の育成 に関する視点

- ・ 生徒の主体性を大切にされた学校行事の運営
- ・ 生徒自ら健康的な生活習慣の定着を図る取組の充実
- ・ ユニバーサルデザインの視点に基づく学習環境の構築

(3)地域との連携 に関する視点

- ・ 地域との関わりを生かした「小・中連携子ども育成プラン」の推進
- ・ 地域を支える自覚を促す行事への参画
- ・ 健全育成を推進する学校と地域のパートナーシップの構築

(4)誇りとやりがいをもって勤務できる環境の構築 に関する視点

- ・ 校務支援体制づくりの推進
- ・ 業務改善につながる施設設備等の先進化
- ・ 幅広い教育活動への地域教育資源の活用

新校が目指す学校像と学校づくりの視点について

☆新校における発展的な取組

1 学びの充実

一人ひとりの理解度や特性に応じた学習機会の充実☆

- 教育 ICT 環境の充実・活用
- ・ ICT 機器を効果的・効率的に学習に生かすことのできる学習空間づくり
 - ・ 学習用デジタルドリル(AIドリル)やクラウド型授業支援アプリなどを活用した指導

指導体制等の整備

- ・ 美術科、技術・家庭科に常勤教員を配置し、ものづくりの指導や支援を充実
- ・ 国語科、数学科、英語科の常勤教員を各学年に配置し、各学年の生徒の実態に応じた指導や支援を展開

多様な学習形態での学習を可能にする教室設計

各教科の学びを生かした探究的な学習の推進☆

探究的な学習「めぐろ PBL(プロジェクト型学習)」(仮称)の開設

学校の教育力を高める各種教育機関等との連携☆

生徒の意欲の向上や学びを深めるための大学、高等学校、民間企業と連携した学習

2 豊かな心健やかな体の育成

生徒の主体性を大切にした学校行事の運営

生徒会、各種委員会組織の充実と活性化、生徒が主体的に進める学校行事の充実

生徒自ら健康的な生活習慣の定着を図る取組の充実

心身の健康を高める部活動の充実
保健体育科、技術・家庭科を要とする健康教育の推進

ユニバーサルデザインの視点に基づく学習環境の構築☆

ユニバーサルデザインの視点を採り入れた学習指導と学校設備の整備

誰にとっても分かりやすい授業、自分を安心して表現できる学級、安心して過ごせる「居場所」としての学校

生徒が話したい先生と気軽に相談できる教育相談週間の実施

新校が目指す学校像

人権尊重の精神を基調とし、
自律的な学びと共創的な活動を通して、未来を切り拓く力を育てる学校



3 地域との連携

地域との関わりを生かした「小・中連携子ども育成プラン」の推進

地域関係者と連携した取組を「小・中連携子ども育成プラン」に位置付け、小中学校 9 年間を見通して推進

地域を支える自覚を促す行事への参画

地域防災行事や地域慣例行事への参画を通じた、生徒が主体的に地域の行事等を継承しようとする意欲の醸成

健全育成を推進する学校と地域のパートナーシップの構築

町会・自治会や住区住民会議と連携して取り組む地域行事を通じた、信頼関係の構築及び健全育成の推進



4 誇りとやりがいをもって勤務できる環境の構築

校務支援体制づくりの推進☆

副校長補佐やスクールサポートスタッフ等の校務支援人材の適正配置

業務改善につながる施設設備等の先進化☆

教員の授業・成績処理業務・諸会議・分掌業務等の効率化を推進する ICT 機器の整備やシステムの導入
専門的視点を導入した執務環境の最適化

幅広い教育活動への地域教育資源の活用☆

学校部活動から地域部活動への段階的移行
・ 地域人材等の確保を含めた、部活動運営主体を担うことができる民間のスポーツクラブ、芸術文化団体との連携を検討

通常の授業の他、探究的な学習、放課後の補習等への地域人材等の活用

人権尊重の精神

用語解説

| | 用 語 | 意 味 |
|---|-----------------------|--|
| あ | いじめ問題を考える めぐろ子ども会議 | 児童・生徒一人ひとりがいじめに対する正しい認識をもつとともに、いじめのない学校を目指そうとする態度を育てることを目的に、中学校区ごとに実施している代表学年全児童・生徒によるいじめ問題に関連した意見交換会の名称。平成18年度から実施している本区独自の取組。 |
| | A I ドリル (デジタルドリル) | 学習用情報端末上で問題を出題・自動採点するドリル。A I 技術の活用により、正答率や学習状況等の記録を分析し、一人ひとりの習熟に応じた問題が出題される。苦手分野を克服するために、過去に間違えた問題の類題が出題されたり、得意分野を伸ばすために発展的な問題に挑戦できたりと、子ども一人ひとりの進度に合わせ、学年を超えた学習が可能になる。 |
| か | 学習評価 | 学校における教育活動に関し、子どもたちの学習状況を評価するもの。各教科等における成果や課題を明らかにする「観点別学習状況の評価（A・B・Cの3段階）」と、観点別の学習状況の評価をもとに総括的に学習状況を示した「評定（1・2・3・4・5の5段階）」がある。 |
| | 教育課程 | 学校教育の目的や目標を達成するために、教育の内容を子どもの心身の発達に応じ、授業時数との関連において総合的に組織した計画のこと。 |
| | 教育計画 | 学校において作成する計画等で、法令、通知、答申、報告書等（国（主に文部科学省）から出されているもの）に根拠があるもの。教育課程を具現化したもので、各教科等や「人権教育」等の各種〇〇教育の全体計画や年間指導計画の総称。 |
| | 共創 | 多様な立場の関係者と対話しながら、ともに新しい価値を生み出していく考え方のこと。 |
| | 共創的な学び | 子どもたちが友達、先生、地域社会の方々といった多様な人々と関わりあい、学び合う中で、新たな価値を創造する活動に取り組むこと。 |
| | クラウド型授業支援 アプリ | 課題の配付・回収、課題の進捗管理、子ども同士の意見交流等を行う機能があるなど、子どもの学びを促進しながら、教員の授業運営をサポートすることを目的としたアプリケーション。 |
| | 校務分掌 | 学校を運営する上で必要な業務分担のこと。 |
| | 固定時間割 | 学級ごとに設定された一週間の時間割のこと。時間割 |
| | 自然宿泊体験教室 | 教育課程の一環として、学校内における日常的な指導では十分な効果をあげることができない内容について学習するために、目黒区立学校の小学校第4学年から中学校第1学年までを対象として実施している宿泊行事のこと。 |
| さ | 週時程 | 登校時刻、休み時間、授業時間、給食時間、下校時刻などを1週間単位 |

| | | |
|---|---------------------|---|
| さ | | で定めたもの。 |
| | 小・中連携子ども育成プラン | 各中学校区の小学校と中学校とが共同で作成する小・中の9年間を見通した教育計画のこと。地域の学校として育てたい子ども像やその具体的な取組を示すこととしている。毎年度見直しを図りながら連続性のあるカリキュラムに取り組み、児童・生徒間の交流や教員間の交流などの連携を具体的に進めることを目的としている。 |
| | 自律的な学び | 子どもたちが、自分の学びの目的や方法を考え試行錯誤しながら、当事者意識をもって様々な教育活動に取り組むこと。 |
| | スクールサポートスタッフ | 授業で使用する教材等の印刷や物品の準備、学校行事等の準備補助、採点補助など教員の業務の補助を行う職員。 |
| | 生活のきまり | 学校が教育目的を実現していく過程において、生徒が遵守すべき学習上、生活上の規律のこと。 |
| た | 探究的な学習 | 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てることを目的とした学習。総合的な学習の時間を中心に、各教科等で身に付けた知識や技能を活用しながら、課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現といった活動を発展的に繰り返しながら進めていく。また、総合的な学習の時間での成果を各教科等に関連させることで充実を図る。 |
| | 地域部活動 | 地域のスポーツ指導者、スポーツ推進委員、生徒の保護者等の参画や協力を得て、総合型地域スポーツクラブ、民間のスポーツクラブ、芸術文化団体等が運営の主体を担う部活動のこと。 |
| な | 年間指導計画 | 各学年において、その年度の学習活動の見直しをもつために1年間の流れの中に各教科等の単元を位置付けて示したもの。 |
| は | 評価計画 | 学習の評価を行うにあたり、各教科等の目標や領域・内容項目レベルの学習指導のねらいを明確にし、それに対する生徒の学習状況を判断する際の目安を明らかにしたもの。 |
| | 副校長補佐 | 電話・来客対応や教職員のサービス管理補佐、施設管理補佐、調査・統計資料の作成など、副校長事務の補佐を行う。 |
| | PBL (プロジェクト型学習) | 探究的な学習を実施する指導法の一つ。子ども自身、地域、教員、企業等が設定した課題や目標に対して、子どもたちが主体的に他者と協力するなどして取り組む学習法。いわゆる教員による一方的な知識伝達型の授業とは異なり明確な答えがなく、子どもたちがこれからの社会で求められる力を実践的に身に付けることができる。 |
| や | (教育の) ユニバーサルデザイン | 学校が、すべての子どもにとって分かりやすく学びやすい場所となるようにという視点で教室環境等を整えること。 |